

紙 風 船



◆ 令和6年度前期終業式

4月の始業式から約半年、令和6年度の前期が終了しました。今日までの登校日は106日（1年生は103日）です。この間、子どもたちは、日々の授業や行事等を通じて大きくたくましく成長しました。本日お渡しした通知表にも、子どもたちのがんばりが記されています。お子様のこれまでの努力の成果をご家庭でもぜひ、話題にさせていただきたいと思います。

保護者の皆様のご理解とご協力により、前期は実りある教育活動を行うことができました。本当にありがとうございました。

前期終業式での代表児童の発表

「ぜんきにがんばったことと、こうきたのしみなこと」

H.Kさん

わたしがぜんきにがんばったことは、さつまいもとえだまめのみずやりです。にちよくの日は、まいあさわすれずにはたけにいて、じょうろでみずをあげました。すると、わたしのかおより大きいものがたくさんとれて、びっくりしました。

えだまめは、一つのさやに、まめが四つも五つもはっていました。とてもおいしかったです。おうちでも、うえてみたいとおもいました。

こうき、たのしみなべんきょうは、おんがくです。いろいろなうたをならうことや、けんばんハーモニカをふくのがたのしみです。いっしょにおんがくのべんきょうをしている二ねんせいみたいに、じょうずにうたったりふいたりできるようにがんばりたいです。

「心が動いたときのこと」

F.Kさん

前期で頑張ったことと、前期の思い出について話します。

一つ目は勉強についてです。ごんぎつねのお話で場面ごとに「兵十」と「ごん」の気持ちや行動について考えました。みんなで登場人物の心情曲線をかいて、「兵十」と「ごん」の心のきょりについて話し合いました。

四年生みんなで心情曲線を見合ったときに、すぐに二人の気持ちが近づいていったような曲線や、だんだんと近づいて行った曲線もあって、人によって考え方がちがっていて相手の考えを知るのが楽しいと思いました。

二つ目は給食の時のことです。3年生までのわたしは、ゴミ捨てやテーブル拭きしかやってなかったような気がします。高学年のお兄さんお姉さんや先生に言われてから、活動することが多かったです。4年生になってからは、テーブルがふかれていないと自分から気付いて、ふけるようになりました。自分で進めようと思ったことがきっかけになり、他の人が仕事をしていて、誰もできないときに自分がやらなければいけないと感じるようになりました。秋休み中も自分の事は、家族にたのむことなく、進めていくことができるようにしたいです。

前期の一番の思い出は、宿泊体験学習です。一ぱく二日で家族からはなれて友だちと自然をたくさん楽しみました。その中でも、はんのメンバーで体験したきもだめしが心に残っています。きもだめしの変に明るい感じが怖くて、その時点でわたしは泣いてしまいました。一回入り口までみんなで戻ってしまいましたが、また勇気を出して、出口を目指してゴールできたときのほっとした気持ちは今でもわすれられません。

前期の授業や行事も楽しく過ごすことができたので、後期もたくさんの出来事を通して、成長していきたいです。

◆ 「ひのきっこの活躍」... おめでとう！

○令和6年度 仙北市ふくし標語コンクール

ボランティア部門 佳作 6年 A.Kさん

「 ありがとう その言葉が うれしくて 」